

COLORS, FUTURE! ACTIONS KAWASAKI 100th

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

日本の東西を結ぶ場所。ここが川崎の玄関口です。

川崎の「北の玄関口」とも呼ばれる東名高速道路の川崎インターチェンジ。

1968年の開通以来、半世紀以上にもわたって、

川崎の発展を支える交通の要衝であり続けています。

私たちの毎日も、きつとこの土地と歴史に刻まれていく。

100年目の川崎市ではじまるColors,Future! Actions。

このまちを発展させてきた人たちに感謝を抱きながら、

未来の人たちへとつないでいく多彩なアクションを、さあいっしょに。

Photo / 宮前区 東名川崎インターチェンジ NEXCO中日本提供 昭和43(1968)年開通当時



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

川崎市市制100周年記念

7区の歴史を振り返る



特設サイト

<https://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000147126.html>

2024年、川崎市は市制100周年をむかえます。

その歴史を知るため、川崎市7区をぶらりと歩いてみました。

それぞれの区の昔の写真を手に、歩いて、見て、聞いて、感じて、発見したこと。

それは今に至る100年の発展の理由でした。

あなたの住んでいるまちの昔を知っていますか？

過去にはこれからの100年先の未来を考えるヒントが、きっとあるはずです。

裏面では
宮前区を
ぶら歩き!

歩いて発見！
知ってナルホド！

ぶら

宮前区



起伏に富んだ地形が もたらしたものは何か？

宮前区は坂の多い街。台地と谷戸の多彩な地形が恵みをもたらしてくれた。都市農業でメロンや花桃など高品質な作物で有名なのはもちろん、最近ではサッカーでも“鷺沼兄弟”が話題になっている？



だ。2人の体力は、坂の多い地域で育ったから養われたと言ったら、ちょっと言い過ぎ？

ぶら宮前区 ② カツパーク 鷺沼

思い出の鷺沼プールの跡地では、フットサルの若者たちが

続いてカツパーク鷺沼を訪ねた。かつて鷺沼プールがあった場所だ。東急田園都市線の開通による住宅開発に伴い、1967（昭和42）年に、川崎市水道局鷺沼配水池が設置された。その屋上部を有効活用するために、翌年、プールがオープン。子ども向けプールの他に、水深180cmもある六角プールがあった。「身長よりも深い六角プールに入った子どもは、威張っていたなんて話もよく聞きます」とは、宮前区役所のふたり。

しかし利用者の減少を受けて2002（平成14）年に廃止。今では教育・広場・公園、運動施設、福祉の4つのゾーンに分けられて活用されている。フットサルコートも6面持つ「フロンタウンさぎぬま」もある。この日は地元の高校生が練習をしていたのだが、とにかくうまい。感心して声をかけたら、「自分たちなんて全然です」との答えが返ってきた。この地区のサッカーレベルの高さを実感したのである。

ぶら宮前区 ③ 尻手黒川道路

肥沃な土壌により 宮前区は今も都市農業が盛ん

次に向かったのは、尻手黒川道路の金山交差点。沿道周辺に宅地もない時代があった。1947（昭和22）年に右下の写真撮影した田村隆司さんは、「当時は田んぼや畑が広がっていたんです。これは農地改革に伴って測量したときのものです」と語る。

「川崎歴史ガイド」によると、宮前区南半部は台地に小さな谷が入り込んでおり起伏に富んでいた。土壌は、厚く堆積する富士山の火山灰（関東ローム層）に腐食した枯れ草などが混ざっており、肥沃で水はけが良かった。そのため古くから麦などの畑作農業が盛んに行われたそう。明治時代以降は東京から近い利便性



坂を下りきると「鷺沼から世界へ」の横断幕が目に入ってくる。なんとここは2022 FIFAワールドカップで大活躍をした三笥薫、田中碧選手が卒業した鷺沼小学校校舎の



東急田園都市線鷺沼駅で下車し、鷺沼駅前交差点を右折すると、春待坂と呼ばれる長い坂が現れた。宮前区には坂道が多く、そのうち18か所には区民からの公募で愛称が付けられたという。西向きの斜面なので桜の開花が他所よりちょっと遅い。春を待つというイメージで名付けられた坂を下っていく。道路の両側に2000mにもわたって桜並木が続く。開花は少々遅くても、いざ咲いたらそれはそれは見事な光景だろう。

鷺沼小学校のフェンスに張られていた横断幕。『平成21年度卒業三笥薫選手 平成22年度卒業 田中碧選手』の文字が誇らしげに踊る。少年時代の三笥・田中両選手が、坂の多いこの地域を行き来していた様子をつい想像してしまう。



馬網での花作りは大正時代に盛んになり、室という地下室で開花時期を調整して出荷された。現在も馬網の花桃は、桃の節句に大いに喜ばれている。



白黒写真カラー化プロジェクトとは

かわさきマイスターの印刷技師・流石栄基さんにより、昔の川崎の白黒写真20作品をカラーで再現しました。プロジェクトはガバメントクラウドファンディングによって実現されました。



尻手黒川道路は、市内南東部から北西部の住宅地までを結ぶ幹線道路。川崎市全7区のうち5区を通過する。また東名川崎インターチェンジに直接繋がっているため、交通量は多い。今では沿道のほとんどは住宅地。

脚のないお化け灯籠
東京・赤坂の旧陸軍東部62部隊の兵舎に置かれていた灯籠は、夜に化けて徘徊したというので、動かないように足を切られたという。部隊が川崎に移転する際、灯籠も移動して来た。脚のないまま、現在は川崎市青少年の家に置かれている。

“宮前兄妹”の名前の由来は？
兄の名は「メロー」。区の花・コスモスの花飾りが似合う妹の名は「コスミン」。区名産の宮前メロンの畑から、2012（平成24）年に、宮前区誕生30周年を祝うためやってきた。

